

病院短信

1病棟 看護師長 斎藤 宏美

『腸活』

新茶の待ち遠しい風香る5月です。いよいよゴールデンウィークがやって来ます。今年には10連休の方もいるようですね。私たちは大切な患者さんがいるので10連休とはなりません。今までのゴールデンウィークよりはお休みが取れるようです。

5月の暖かく穏やかな風は、ぼかぼかでも気持ち良いものですがアレルギーのある人にとっては厄介な風だと思います。特にスギ花粉アレルギーの人は、くしゃみや鼻水・鼻づまり・目の痒みと休む間もなく症状が出ます。これは、花粉が目や鼻から入ってくるので体が異物だと認識し排除するため、免疫力が過剰に反応するので引き起こされると言われています。花粉症は、1970年代前半から日本で急激に増え始め、原因として環境汚染や食生活の乱れ、免疫力の低下などが指摘されています。

活の乱れ、免疫力の低下などが指摘されています。腸は免疫力の要で、免疫細胞の6割は腸内にあると言われています。腸は免疫力の要で、免疫細胞の6割は腸内にあると言われています。腸は免疫力の要で、免疫細胞の6割は腸内にあると言われています。腸は免疫力の要で、免疫細胞の6割は腸内にあると言われています。

4月のアニマートでも船津師長から紹介がありました。今年度の看護部の目標は『言葉について考える』です。1病棟の目標は『感情に流されず相手の気持ちを考えて言葉をつける』にしました。患者さんは勿論の事、スタッフも含め相手の気持ちを考える言葉を選んで欲しいと思います。業務の中で忙しい時などつい「ちよつと待って」「あー、だめですよ」「座って下さい」等の声が聞かれます。その一言で怒り、不穏になってしまった患者さんはいくつかあります。「ちよつと待って」を「終わった直ぐに行きますね」「あー、だめですよ」を「どうしましたか?」「座って下さい」を「おトイレですか?」等の言葉に変えてみてはどうでしょうか。

きつと、患者さんも安心して優しい気持ちになると思います。

今年度、感情に流されることなく相手の気持ちを汲み、言葉かけに気配りしていこうと思います。



看護のひろば



3病棟 看護師 大塚 洋平

今月から新元号、令和が始まります。平成は31年でしたが、あっという間に過ぎた感じがします。

近年、もの凄いスピードで物事が進化していく中、コンピューター・AI・ロボットなどの発展により、医療・介護の場でも現在治せない病気を治せたり、介護ロボットが出来たりと近い未来で見られるのではないのでしょうか。

しかし、物事が進化して豊かであっても一番大切にしなければいけないのは、人の豊かな心ではないかと思えます。人と人との関係が薄れている気がします。思いやり、助け合い、優しさを持って接していけば、より良い関係、環境が生まれるはず。私自身も優しさ、思いやりなど豊かな気持ちを常に持って患者さんの看護に努めていきたいと思えます。



いきいき介護



1病棟 介護主任 高井 正基

入院されている患者さんにとって何よりも楽しみなのは…食事?入浴?それともレクリエーション?いえいえ、最もうれしそうなのは、ご家族の面会です。

普段は家に帰ることのできない淋しさを不機嫌になる方もいますが、ご家族の顔を見つけると一気に口元がほころび笑顔になります。また面会が無くて「今日は娘来ますかね」「お父さん来ればいいのに」と、娘さんやご主人の来院を心待ちにしている患者さんもいます。

今ではご家族よりも顔を合わせる時間が長い私達スタッフに「お疲れさま」と手を挙げて挨拶をしてくれたり「おはよう」と気持ちよく迎えてくれたりする心優しい患者さんのために、少しでも入院生活が楽しく送れるように私達は努めていきますので、ご家族の皆さんもぜひ病棟で患者さんの満面の笑みを感じてください。心よりお待ちしております。



事務屋の独り言

常務理事 事務局長 瓦井 洋

『飛んで埼玉』

飛んで埼玉。ご存知、埼玉県民が都民から「迫害」を受けるコメディ設定の映画です。

この映画、報道によれば観客動員は既に260万人を超えていて、かなりの興行収入を上げています。

内容は「埼玉県人にはそこら辺の草でも食わしておけ」等々、かなり過激なセリフがふんだんに飛び交う、埼玉出身の漫画家「魔夜(マヤ)峰央(ミネオ)」氏の原作を、茨城県出身の映画監督「竹内英樹」氏で映画化されたものです。

私自身は、自虐ネタがあまり好きではありません。この映画が好評を博するのは、あまりというかなんか嬉しくありません。当然ですが、私は埼玉県出身ですから…。

監督の竹内氏によれば、「実はこの『飛んで埼玉』、埼玉県民が自虐しつつ、郷土愛を再認識していくストーリー」なのだそうですが、それでも自虐ネタで郷土愛を育むなんて、到底、私の頭では無理です。理解も出来そうにありません。

もともと、埼玉県知事の上田さんが、この映画が好評なのを見て、『悪名は無名に勝る』なんて言っちゃいましたし、私が思うに、この発言そのものが、知事としてかなり度胸のある発言なので、私も知事を見習って「たかが映画」と笑って済ますことにしました。

それにしても最近、映画にしろ、テレビにしろ、『自虐ネタでお笑いを取る』のがこの業界のトレンドなんですかね。

この自虐ネタは、埼玉県だけではありません。他の県でも「自虐広告」は沢山あります。

例えば北海道の十勝川温泉。昨年9月の北海道地震の後、『元気ないます。十勝川温泉』、『ヒマ過ぎちゃって、サーブス向上』の自虐ネタポスターを張り出し、11月には客足が元に戻ったそうです。

さらに魅力度ランキング全国最下位の茨城県が、『のびる日本一』。そして三重県の志摩スペイン村では、『並ばないから乗り放題』。さらにさらに鳥取では知事が、『スタバはないけど砂場はある』などなど。枚挙にいとまがありません。

では、なぜ今、「自虐」が受けるのでしょうか。

早稲田大学の嶋村教授は『一番』や『美味しい』という表現は使い古されておき、誇大や自慢と思われる傾向にある。と指摘しています。そして一方で『まずい』『ひどい』といった自虐は、「正直で面白い」と思われる。さらにSNSが発達した今、最初からネット拡散を狙って自虐が使われているのでは、と分析しています。

関西大学の森下教授は「自虐には、聞いた人に優越感を感じさせる効果がある」として「自虐を笑ってもらえれば、聞く側と感情の共有ができて、言う側も楽しくなる」のだそう。

但し、反面、内心にあるのは「自分はこれくらい笑い飛ばせるんだぞ」という『自らの力の確認』の感情だ、と言っています。つまり自虐は、裏を返せば「自分はこれくらい度量が広いんだぞ」という自己表現の一種とそう思えば『飛んで埼玉』を見て笑い飛ばせるのも、分るような気がしてきましたね。それでも私には無理そうですが…。



桜

まつり



桜満開



おしるこ・甘酒にお花見



ぽかぽか



のどか



新年度、朝礼に参加

サウちゃんよ大志を抱け



ラジオ体操



整列

サラコーナー

PSWだより



精神保健福祉士
渡邊 正基

寒い季節が過ぎ、患者さんがお外に出るのが楽しい時期になりましたね。当院では5月にバスハイクを行います。患者さんにとって当院の中庭以外の場所でお散歩をすることは、とても貴重な時間です。行先はその時期により異なりますが、季節の風を感じることで解放感を感じてもらえればと思っています。

長く入院されている方は何度も参加していただいているので、散歩の後に美味しいお菓子が待っていることを知っています。むしろそちらの方がお目当ての方もいるくらいです。楽しみ方は人それぞれですが、患者さんにとって楽しいひと時になればと思います。



スタッフ紹介

1病棟 介護福祉士
たくち ぶんひこ
田口 文彦
星座：乙女座
血液型：B型
趣味：釣り



SNS上では、カツ丼派と親子丼派の議論が話題になっていますが、我が家では私以外親子丼派。娘は口を開けば、『親子丼が食べたーい!!!』。外食は親子丼が食べられる店、家での食事でも週3回は親子丼。親子丼に支配された生活には、うんざりですが、娘が親子丼を好きでいる以上、口が裂けても嫌いだとは言えません。



5月の予定



- ◆ふれあい看護の日
12日(日) 9:00~15:30
・これから看護、介護を目指す方に認知症専門のセントノア病院で『心を見る』を体験していただけます。
- ◆大正琴演奏会
18日(土) 14:00~
- ◆お誕生日会&母の日
14:00~ 各病棟デイルームにて
1病棟 10日(金)
2病棟 15日(水)
3病棟 8日(水)
- ◆おやつパーティー
22日(水) 各病棟 14:45~
- ◆バスハイク 下旬予定

